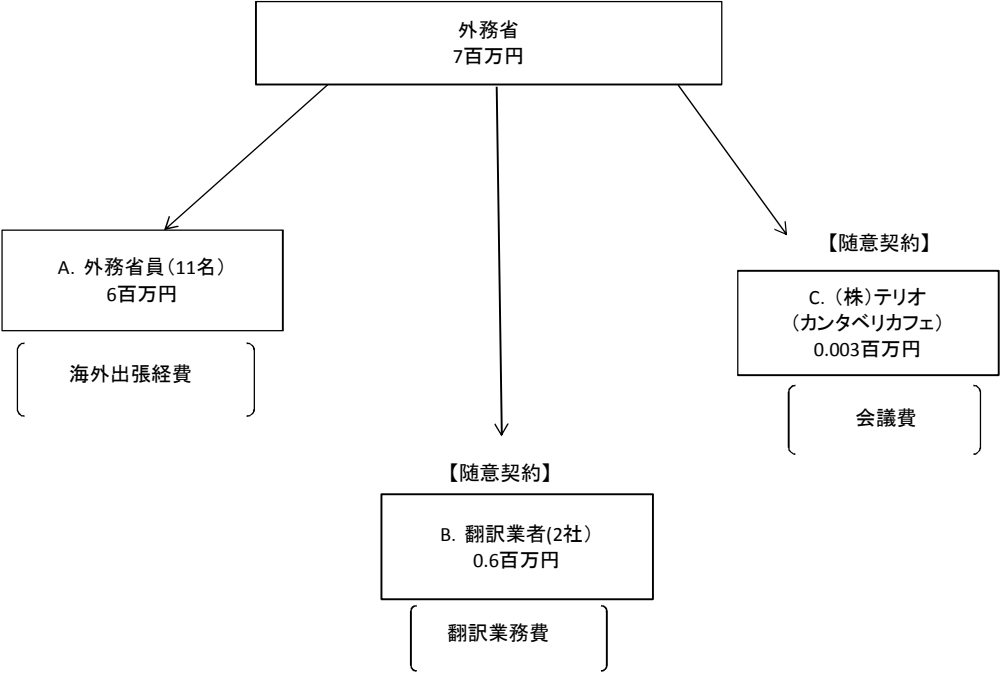


平成25年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	国別援助方針策定調査			担当部局庁	国際協力局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成12年度			担当課室	国別開発協力第二課			課長 徳田 修一	
会計区分	一般会計			政策・施策名	VI-1経済協力				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条一の八の二十七			関係する計画、通知等	「政府開発援助大綱」(平成15年8月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国別援助方針の策定において、先方政府との意見交換や現地視察を行うための、関係者出張経費及び方針の策定に要する謝金を手当することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国別援助方針(平成22年度まで国別援助計画)は、ODA大綱、ODA中期政策の下に位置づけられ、具体的な援助案件選定の指針とすべく、その政治・経済・社会情勢の認識を踏まえ、開発計画や開発上の課題を勘案して作成する国別の我が国の援助方針。5年間程度を目処に、原則としてすべての我が国ODA対象国について策定するもの。 方針の策定に当たり、被援助国の政治・経済・社会情勢、開発上の課題等に関する深い理解が求められ、被援助国の政治・他ドナーを含む幅広い関係者との意見交換が必要のため、関係者が同国の政治・開発関係者との協議、援助現場の視察、我が方在外公館、JICAの現地事務所等で構成される現地ODAタスクフォースと意見交換を行うことが必要不可欠である。								
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算状況		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
			当初予算	12	12	9	9		
			補正予算	-	-	-	-		
			繰越し等	-	-	-	-		
	計		12	12	9	9			
	執行額		7	12	7				
執行率(%)		58.40%	98.40%	74.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)	
	国別援助計画・方針の策定作業件数(改訂を含む)				成果実績	件数	12	40	49
				達成度	%	-	100%	100%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	国別援助方針に関する協議のための出張件数				活動実績 (当初見込み)		11 (18)	20 (15)	11 (18)
単位当たりコスト	1ヶ国あたり(円/143,499)			算出根拠	1ヶ国あたり=出張経費、会議費、翻訳費の総額÷策定国数 49ヶ国				
平成25・26年度予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金		0.8						
	旅費(外国)		7						
	有識者旅費		0.9						
	会議費		0.02						
計		9							

事業所管部局による点検							
	項 目			評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	我が国のODAを戦略的に実施し、国民への説明責任を高める観点から、ニーズは高い。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○			
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	有識者等出張経費については各人の経歴に順次格付けの上、国家公務員旅費法に準じた手当を支弁する。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	国別援助方針を策定するにあたっては、相手国の開発ニーズの実態を把握する必要がある。そのためには、相手国政府関係者及びODAタスクフォースから直接意見を聴取することが必須であるため、平成24年度には計 11回(人)の出張が行われた。 また、H24年度に策定作業を行った49ヶ国のうち、H25年4月現在、39ヶ国分を公表。残りも順次公表予定。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）						
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名				
点検結果	国別援助方針の策定に際しては、相手国政府及び現地ODAタスクフォースの意見を聴取し、開発ニーズの実態を正確に把握する必要がある。そのためには、国別援助方針策定に関わる関係者が相手国政府との協議や現場視察を行う事は不可欠である。また、相手国政府やドナー等への説明を行うための翻訳等作業は必須であり、本事業は適切であると判断される。						
外部有識者の所見							
行政事業レビュー推進チームの所見							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
	平成22年	579	平成23年	563	平成24年	281	

個別事業名：

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)



個別事業名：

費目・使途
（「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載）

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

個別事業名：
支出先上位10者リスト
A.: 外務省員

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	外務省出張者A	旅費	0.9		
2	外務省出張者B	旅費	0.9		
3	外務省出張者C	旅費	0.9		
4	外務省出張者D	旅費	0.7		
5	外務省出張者E	旅費	0.6		
6	外務省出張者F	旅費	0.6		
7	外務省出張者G	旅費	0.5		
8	外務省出張者H	旅費	0.4		
9	外務省出張者I	旅費	0.4		
10	外務省出張者J	旅費	0.3		

B.: 翻訳業者

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)メディア総合研究所	翻訳業務費	0.4	随意契約	
2	(株)エックレーレン	翻訳業務費	0.2	随意契約	

C:(株)テリオ(カンタベリカフェ)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)テリオ(カンタベリカフェ)	会議費	0.003	随意契約	